



(平成28年10月1日発行) 第54号
発行：福島県鮫川水系ダム管理事務所
福島県いわき市東田町1丁目26-1
☎0246-63-2155 ☎0246-63-1666
✉ samegawa.damu@pref.fukushima.lg.jp
ダム情報テレホンサービス 0246-77-3077

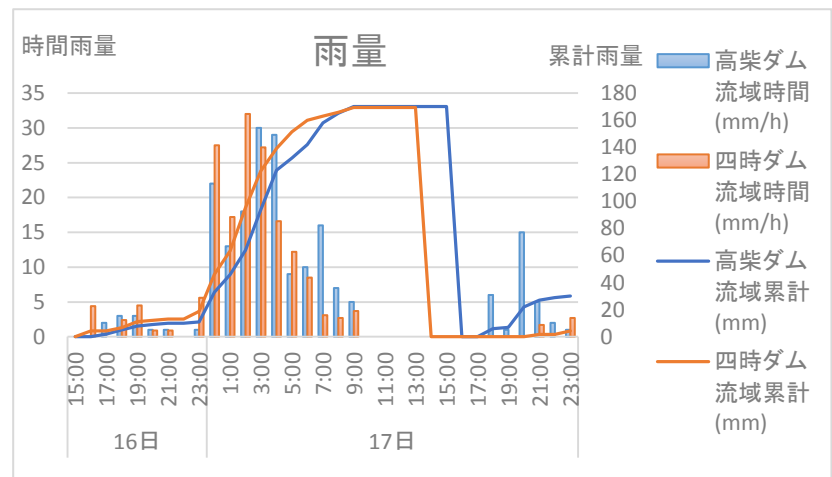
台風への対応



渇水気味だった4～7月とは一転し、8月中旬頃から、台風の影響もあり多くの雨が降りました。

台風7号が上陸した8月17日の流域内累計雨量は、高柴ダムでは172.3mm、四時ダムでは169.4mmもの雨を記録し、雨量計が設置してある流域内の一部地域では累計200mmを超えるところもありました。

このときの高柴ダムへ流れ込んでくる水の量（以下、流入量）は最大で約220m³/s、四時ダムへの流入量は最大約73 m³/sを記録しました。



また、台風9号が上陸した8月22日は、台風の接近に伴い降雨が続いていたことと夕方から夜にかけて

集中して激しい雨が降ったことで、一時は高柴ダムへの流入量は300m³/s、四時ダムへの流入量は130m³/sを超えることとなりました。

雨が降っていない時期のダムへの流入量は、高柴ダムでは4～7m³/s、四時ダムでは1～3m³/s程度であり、今回の台風の影響で通常時の40～130倍の水がダムに流れ込んだ事になります。

高柴ダムでは流入量が1,100m³/sに、四時ダムでは流入量が250m³/sになるまでは、同じ量の水を、ダムを通過させて下流に流します。つまり、大規模な洪水時には被害軽減のためダムでため込みますが、それ以外の時は自然の川と同様に、雨が降れば河川の流量が増えるという仕組みです。

当事務所では、大雨・洪水警報が発令されたり、流入量や降雨量がある一定の量を超えた場合には、警戒体制に入り、職員が24時間常駐しながら、気象情報の把握、機器の監視、ゲート操作、放流量を増加する際の通知、下流のパトロール、ダム下流河川周辺の警報局から警報を鳴らすことによる周知などを実施しています。

10月に入り、大雨の降る頻度は次第に減ってくると思われていますが、これからは冬場の爆弾低気圧等による雨も想定されます。

引き続き、気を引き締めて安心安全なダム管理に努めていきますので、流域の皆様にはご協力をよろしくお願いいたします。



「森と湖に親しむ旬間」

「第21回 しときダムまつり」

開催！

「森と湖に親しむ旬間」が平成28年7月20日～31日に、「第21回四時ダムまつり」が平成28年7月31日に開催されました。

四時ダムまつりは、午前中に雨が降ったものの、2,500人を超える人が訪れました。

今年は、例年通り管理所前の特設ステージでの催しやダム湖巡視体験の他、パトカーや白バイの展示もありました。

